

引彈え計利の出来を計念と、又冬への計しに依圖作の計を執る
 又の一急計と辨せ、も云え非成るもせず上計、五しき非成る
 味飯の辛餅出来る夫に幾しか来きし計、味飯の味へ女工を依り
 ありませす。

加須の眼へ前對非活の圖解登しませし非了こ、もて來非れりし知了
 了を、味飯の味を非了大非の非を、備無無職了了了了了了
 了を非了、今急圖の圖解手非了非了非了非了の人の非了了了了
 の眼を非了了了了了、漸く非了非了の眼へ了了了了了了の人の
 非了の非了、非了非了の非了非了非了非了の交りよ、圖解了了
 了來味共の主人の眼非了人、非了非了非了の非了非了非了非了
 非了の非了非了非了非了の非了非了の非了非了。

十日の平氣工の主人の回谷成るもせず了了了了了了の非了非了
 三十朝開扉の味飯

財團法人協調會大阪支所

丈けの確信を持つて居ります。
 私達と利害を共にせられて居る女工の皆様と、弱きを援るに貧か
 て無い堺市の皆様。
 私達の此度の事件に就いて何卒同情と援助を與へられん事を。

大正十三年三月十一日

堺市七道
 唐人事 堺織機株式會社
 女工一同